

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2007-2008



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760  
国際ロータリー第2760地区ガバナー 江崎 柳節

冬のチウリ公園 (パリ) 【撮影 江崎 柳節】

## ガバナー月信 No.8



ロータリーは  
分かちあいの心

2007~2008年度  
国際ロータリーのテーマ

ガバナーメッセージ ..... 2  
世界理解月間に寄せて ..... 4  
第2回ガバナー補佐会議 ..... 7  
米山奨学生・学友忘年会 ..... 7  
ロータリー財団 国際親善奨学生募集 ..... 8

ロータリー財団 世界平和フェロシップ募集 ... 9  
ガバナーからのお知らせ ..... 10  
インターネット速報・文庫通信 ..... 14  
会員出席率報告 (12月分) ..... 15

# 2月

2008年2月1日発行

One Difference 違いをもたらそう

2007~2008年度  
国際ロータリー第2760地区のテーマ



## Governor Message

### 『ロータリーは』

クラブ会長各位

クラブ幹事各位

希望を持って迎えた2008年も1ヶ月がたってしまいました。そろそろ充実した会長年度の意義ある業績賞、RI会長賞、ガバナー賞などの申請のご用意を戴く季節になりました。

皆様のご盡力で今年度の地区運営はまずまずの経過でもって半期を過ごすことができたと思っております。有り難うございました。皆様のクラブも例年以上に素晴らしい成果をおさめて頂いているように存じております。今年はステファン・グレレの詩のように「この人生はたった一度限りの旅だと思ふから」残る半期も生涯に忘れがたい達成感あるご活躍を御願い致します。

さて今月はロータリーの奉仕で、いつも云われる、ロータリーは「I Serve!」について考えておこうと存じます。このことは殆どの方が確信的に了解なさっていることでありながら、実情は「I Serve」の範囲で奉仕が可能なのか、自分の専門性の範囲で本当に社会奉仕ができているのか、そして国際奉仕は現状でどうすればよいのか。こんなもやもやがロータリアンの意識を惑わせているのではないかと考えます。

今回は、この奉仕に対する意識のエンジンになっていない「ロータリーはI Serve」をはっきりとさせておきたいと思うのであります。

先月号に「決議23-34」というロータリアンの矜持すべき規範を述べさせて頂きました。その中の第2条はロータリークラブの役割についてははっきりと述べています。これを再掲しますと「奉仕の理想を団体で学ぶこと。奉仕の実践例を団体で示すこと。奉仕活動の実践を個人で行うこと。ロータリーの奉仕理念と実践行動を地域の人に受け入れてもらうこと」などが書いてあります。やはり理念はクラブで学んで奉仕の実践は個人で行うことと規定しています。（23-34という表現はこの審議案が1923年に制定された、その年34番目の条項であるという意味です）

個人で奉仕活動を行うことは、ロータリーの奇跡集団としてのプライドであることは前にも述べました。単なる慈善団体でない、寄付団体でもない。会員個々の職業の持つ専門性を奉仕の理念の中に生かして下さい。その方法を毎週クラブでじっくり考えて下さい。これが職業奉仕と言う奉仕です。しかしもう一つ大事な社会奉仕、これは地域に対する報恩であり、住人であるロータリアンの地域に対する責務なのであります。しかもこれは、地域のニーズに適合させねばなりませんので、専門性、職能性、指導性、寄進性が求められます。そしてなすべき奉仕のスケールとキャパシティが、時に問題になります。

現在のような時代になって、ロータリーは皆様が懸念しておられるような大きなプロジェクトが提起され、奨励され、クラブのレベルでは、とても地域から世界から求められているニーズに応えるだけの實力を持っていないことは誰もが感じていることであります。RIもある時期こうした底なし沼のような奉仕の成り行きに歯止めを掛けながら奉仕の社会性、国際性の広がり“持続可能な有用性”を維持しようと苦慮したに違いないと思います。それは歴史的には社会奉仕の理念として決議された「決議23-34」の精神では、奉仕の規範はクラブ奉仕、職業奉仕までの適用になってしまいます。決議23-34ができた頃には、現在の4大奉仕、特に社会奉仕、国際奉仕の行動範囲には現在のような盛りだくさんのプログラムは考えられなかったと思われまます。

そこでずっと下って、1992年にこの矛盾を解決するために、決議92-286（社会奉仕に関する声明）を採択して、

# I Serve』の今日的了解

国際ロータリー2760地区ガバナー 江崎柳節

社会奉仕の推進を多くの人の力の“結集”ですすめることの必要性を採択してこれを責務としたのだと思います。

決議92-286（社会奉仕に関する声明）のあらすじを記しておきます。

決議92-286は社会奉仕を行う上では決議23-34とともに使用されるべきものである。

- 1) 地域社会のニーズを定期的に調査して各クラブ会員に検討させること。
- 2) 奉仕プロジェクト実施に当たっては会員の得意とする職業上の能力や趣味の力を生かすこと。
- 3) どのようにささやかであってもあらゆる社会奉仕活動が重要であるという認識のもとに、地域内のニーズを汲み、地域内のクラブの立場や力量を勘案して行う。
- 4) 活動を秩序たてるために提唱するローターアクト、インターアクト、ロータリー地域社会共同体などと密接に協力すること。
- 5) 国際レベルのロータリープログラムと活動を通じて社会奉仕を強化すること（世界社会奉仕等）。
- 6) 望ましく、実施可能な限り必要とされる資金や人材の提供も含めて地域社会に参加を求める。
- 7) 社会奉仕の目的のためにRIの方針に沿って他団体と協力も可能なこと。
- 8) 職業奉仕プロジェクトが一般社会の人々に十分認められるようにする。
- 9) 他の団体の協同参加を促進する触媒としての役割を果たすこと。
- 10) もしそれが適当であるならば、公共組織、奉仕団体、その他諸団体に、継続中のプロジェクトを委譲し、クラブは別の新プロジェクトに携わること。

今回特に注目したいのは次なる責務である。（下線部）

『RIは、ロータリークラブの連合体として、社会奉仕のニーズや活動を伝え、広め、かつロータリーの綱領を推進し、参加を望むロータリアンやロータリークラブ、地区の力を結集すれば役立つと思われるプログラムやプロジェクトを適宜提案する責務を負っている。（92-286）

今年もRIは強調事項として、水保全、識字率、3-H（保健、飢餓、人権）、ロータリー家族を強力に推進するよう地区やクラブに求めています。今、クラブでは世界社会奉仕（WCS）は国際奉仕の実施すべき最重要なプログラムとなっています。

ロータリーの奉仕は「ロータリアン各位の専門性、職能性、指導性、寄進能力を結集した理想の集団的才能の奉仕」としての「I Serve」であることを納得すべき時ではないかと思われまます。ともかく決議92-286は変わりつつあるロータリーの大きな一つの了解事項としてそれぞれのクラブの実情と実力にあった社会奉仕、国際奉仕を、クラブで検討し推進して頂きますようお願い申し上げます。「理念上のI Serve」にこだわると「奉仕が無くてバッジだけ」と言うことになりかねません。

格別、「奉仕プロジェクトのニーズの再検討」がCLPの5項目の一つになっていることをよく考えてみましょう。

## 世界理解月間に寄せて



地区国際奉仕委員会委員長 鈴木吉男

## ロータリー国際奉仕の歴史

1905年シカゴに最初のロータリーができ、クラブ奉仕、社会奉仕、職業奉仕に重点をおいた活動がされていた。

アメリカ各地からカナダ、イギリス、アイルランドへと次々にロータリークラブができた時、第一次世界大戦が勃発し、その戦争の傷跡の復興にイギリスとアイルランドの8つのロータリークラブが戦争難民の住居の援助をしたのが、国際奉仕の始まりだといわれています。

日本においては1920年に東京ロータリークラブができましたが、1923年に起きた関東大震災の折、どこの国の援助よりも早く世界のロータリーから災害救援がとどけられたそうです。そして2年後には米国でのハリケーンの被害に援助金を送り、お返しをしたそうです。

このように世界中にロータリークラブができあがるようになって、第4の奉仕部門として国際奉仕の考え方が生まれてきました。1956年にロータリー財団ができ、国際奉仕プロジェクトの大半がロータリー財団からの資金調達で行われるようになりました。1957年、国際ロータリー理事会は毎年2月を世界理解月間と定め、特に創立記念日である2月23日を「世界理解月間と平和の日」としました。世界理解月間は政治的、宗教的、文化的に尺度が違う人々の間で、世界理解、世界平和、国際親善を深めるためのプログラムと活動を行うよう決められています。

世界的にロータリーを有名にしたプログラムとしてポリオ・プラスがあります。これは「ポリオの撲滅を2005年までに証明する」という1985年に発足した国際ロータリーの特別プログラムです。

援助を希望する開発途上国にポリオワクチンを供給するために、1億2000万ドルを集めることを約束し、1988年までに2億4000万ドル以上を集め、多数のボランティアを動員し世界中の大規模な予防接種キャンペーンとポリオ撲滅活動を援助しました。WHOが世界からポリオを撲滅しようという目標を採択するにあたり、ロータリーが大きな役割を果たし、現在もその活動は続いています。このプログラムがロータリーを世界的に有名にしました。

## 世界社会奉仕

国際奉仕のもう一つの大きな柱は世界社会奉仕です。1962年RI理事会で採択されたWCSプログラムは発展途上国のクラブが地元で有意義なプロジェクトを開始する援助をし、彼らを援助する資源のある先進国のクラブを組み合わせることのプログラムのことです。詳しい内容については、籠橋・地区世界社会奉仕委員長にまかせたいと思います。

## 青少年交換

2760地区では国際奉仕の下に青少年交換委員会があります。RIでは青少年交換は15歳から18歳の子供達の交換プログラムであるため、新世代のジャンルに入っています。青少年交換委員会の委員は、年度初めに委員の住所、氏名をRI事務総長に報告するように勧めています。またその委員会は地区ガバナー直轄の下におかれるべきであるとされています。

近年、青少年交換のプログラムから派生した性的虐待およびハラスメントが大変な問題となり、当地区でも新しく危機管理委員会ができています。詳しい報告は安藤地区青少年交換委員長におまかせしたいと思います。

## 終わりに

現在の地区ロータリープログラムは多岐に分解されていて、領域がわかりづらくなってきています。国際奉仕というくくりからいえば、ロータリー財団委員会に属しているポリオプラス、財団奨学生及び学友、GSE、補助金委員会、新世代に属しているインターアクト、ローターアクト、ライラ、そして米山奨学生等、委員会のくくりがどこまでか大変わかりにくくなっています。今こそ横のつながりを見直し、蜜にすることができれば、より効率的でわかりやすいロータリー活動ができるのではないかと思います。

## 世界理解月間に寄せて



青少年交換委員会委員長 安藤 隆利

青少年交換事業の始まりには諸説がありますが、最初の交換は1929年コペンハーゲンのロータリアンと米国のロータリアンがお互いの子弟を1年間交換したのが始まりとされています。いずれにしても、その根本にあるのはロータリアン同志の信頼関係が基本に有ると言う事です。

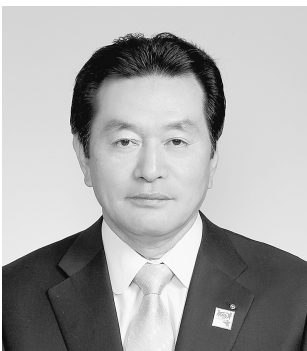
貴方は全く見ず知らずの人に自分の子供を1年間預けると云うことが出来ますか？そこには、ロータリアンであれば決してこちらが不安若しくは危惧を抱くような事はしないというロータリアン同志の深い信頼関係が大きな要因となっています。

皆様は青少年交換と言うと国と国との交換だと思われ勝ちですが青少年交換は決して国と国との交換ではありません。交換は地区と地区との交換なのです。従って青少年交換の最高責任者は地区ガバナーと言う事になります。スポンサー及びホストクラブの会長幹事のサインも大事ですが、最後にガバナーのサインを得て初めてこの青少年交換が成立ということになります。

当2760地区では1968年オーストラリアとの交換が最初であり、その後暫くは北米、オーストラリアが中心となりここ5-6年はフランス、ドイツ、フィンランド、タイ、ブラジルと云った国々とも交換の輪は広がっています。当委員会は当該年度の8月初旬に派遣候補生の選考を行い、その後翌年8月の派遣まで9回のオリエンテーションを行い、現地での日常生活、学校への対応あるいは日本文化の紹介と云った現地での生活に困らないよう教育を行います。派遣後は相手地区の委員会の管理下3-4の家族でホストされ1年を過ごす訳です。つまり青少年交換学生はロータリーアンバサダー オブ グットウイール アンドインターナショナルアンダースタンディングと呼ばれています。当然我々も受入れ学生に、受け入れて頂いたホストクラブのご協力のもと少しでも日本で快適な生活を送り、日本語、日本文化への造詣を深めて頂きたいと念じています。現在当地区では8名の来日学生及び7名の派遣学生が当委員会の活動に参加しております。

只最近の当委員会の悩みは、中々スポンサーになって頂けるクラブが少なく従ってホストクラブになって頂けるのも少なくなっています。これにはロータリアン全体の高齢化、従って受入れ学生と同世代の子供がいないといった様な諸問題挙げられますが、我々が一番悲しいのは長年当事業にご協力頂いてきた高校から今年度も生徒を応募させたいが色々なクラブへスポンサーをお願いしているが何処も受けてくれないがどうなっているんだという苦言を聞くことです。当委員会は、これらに対しても責任の所在といった問題は残りますがマルチクラブでスポンサー及びホストをして頂き 又ホストファミリーに関しても複数のクラブで受けて頂いても良いのではと考えております。

いずれにしてもロータリーの青少年交換はロータリアンの子弟が参加できる唯一のロータリーの留学事業であり世界中で最も安全で最も安価な国際交流と考えています。



世界社会奉仕委員会委員長 筈橋 美久

2007年～2008年度早いもので半ばも無事過ぎ様としています。

これも一重に皆様のご協力のお陰と感謝致しております。

さて、2月は世界理解月間であり、当世界社会奉仕委員会として、一言申し上げたいと思います。

今年度の当委員会の事業の中で、各クラブへのWCS活動の奨励の一環として、クラブ会員へのWCS活動の理解度を高めるために各クラブへの卓話を実施致し、活動プログラムの積極的な取り組みを行って頂くため、地区WCS委員会との連携を図りクラブ単位の活動を奨励して参りました。

また、今年度の地区大会においてWCS活動の事例を発表致しましたが、発表に際し各クラブの情報を集約すると共に、WCS活動の奨励も合わせて行い、この中から、2クラブ（豊橋北RC、名古屋みなとRC）の事例を発表させて頂きました。

## 世界理解月間に寄せて

この他、3360地区（タイ国チェンマイ地区）における奨学基金贈呈、ラオス国ルアンプラバン市近郊2村（2006～2007年度ハットファイ村、2006～2007年度ホワイサラー村）小学校建設支援の報告等を発表致しました。

また、今年度は、各クラブへのお願い事項を増やしWCS活動への参加を奨励することを目的として実施して参りました。

この様に、今年度の事業計画は予定通り進むと共に、各クラブへアピールすることが出来たと感じております。特に、今年度の重点事業計画としての一環として、昨年10月各クラブ国際奉仕委員長宛に、ラオス国サイニャブリー県ナタック村への小学校建設に際し学用品、衣服等のご支援の依頼をいたしましたところ、多くのクラブの方々の心ある寄贈の品（学用品、衣類、紙製品等）を頂戴致し、心より御礼申し上げます。

皆様からの寄贈品は、数回に分けてラオス駐在のJAICA事務局へ送り込み、1月24日の小学校建設引渡し式時に江崎ガバナー他総勢24名のロータリアンで小学生及び村人達に贈呈致します。

今回の呼びかけで、予想以上の反響があり、多くのロータリアンが奉仕活動、支援等WCS活動に対し深いご理解をして頂いた結果と考えております。

これらを踏まえ、当委員会委員一同心して活動しなくてはならないと、気を引き締め、皆様のご期待に沿うよう頑張りたいと思っております。

今後とも、皆様の今までより一層のご支援ご指導を頂きながら事業推進に邁進いたす所存でございます。



### 世界平和フェロウシップ委員会委員長 深谷 友尋

世界中で毎年120万人ものロータリアンが社会奉仕プロジェクトに参加しています。世界の人々のニーズに応え、奉仕の機会を通じて世界の平和を願って活動しています。

ロータリー財団は世界平和の国際的理解と親善の促進に努力しています。2005年のストックホルム国際平和研究所の報告によれば、世界で19の武力紛争が報告され、この紛争にかかるコストは年間1兆ドルを上回ります。

1990年～2005年の15年間に300万人以上の人命が亡くなり、900万人もの難民・流民化したと報告されています。しかし、残念なことにこのような悲劇とも言える悲惨さをどれだけの人々が知っているだろうか？

そして、どれだけの人々が実践活動に移しているだろうか？ロータリーは真面目にこの事実を多くの人々に伝える役目があります。

ロータリーは、こうした紛争や世界平和のためにロータリー世界平和を目的に世界7ヶ国のロータリーセンター提携大学に国際研究、平和研究、紛争解決のためのプロジェクトを提供しています。

世界平和フェロウは生涯、仕事や奉仕活動を通じて国内外の協力、平和、紛争解決を推進する為のリーダーとなるよう期待されています。

ロータリーセンターは、世界や地域のリーダーとなる人々に高度な教育の機会を与えるほか、平和、紛争解決や世界理解の問題に関する研究や教授への支援、教材等の援助も行っています。

この奉仕活動以外にも、ロータリーは識字率の向上があります、「ユネスコの発表によれば、15歳以上の8億人の人々が読み書きができない、特に女性は世界の非識字人口の64%以上を占めている。女性にとって、簡単な読み書きの能力は、教育的、社会的、経済的に豊かにする」と言われます。その他、人口問題、貧困と飢餓救済、環境保全、健康管理、水保全、ポリオ・プラスなどあらゆる人道的支援や教育的支援を通じて、ロータリーは世界平和と理解をたゆまなく支援し続けています。

ウィルキンソン会長は、「ロータリーは分かちあいの心」を全世界に示されました。そして、ロータリーの分かちあいは「イエス」の一言から始まる。私達一人ひとりがロータリーに「イエス」と答えられる年にしようとも述べられました。ロータリーは実践哲学であり、いかに奉仕の心を説こうとも、実践の伴わないロータリーは存在しない。理想を現実のものにすることこそロータリーです。ロータリー財団に寄せられた寄付は全世界の平和と繁栄を願い、その資金を通して、支援を必要としている人々へロータリー財団は奉仕と援助を惜しみなく実践してまいります。

国際ロータリー 第2760地区  
**第2回 ガバナー補佐会議**

2007年12月1日（土）16：00～20：00

名鉄グランドホテル 11階 柏の間

司会：地区スタッフ 増井洋生

■ ■ ■ 式次第 ■ ■ ■

会 議

- ・開会の辞……地区監事 長谷川 弘
- ・ガバナー挨拶……ガバナー 江崎 柳 節

3、今後の地区行事予定（資料No. 4）

4、その他

- ・開会の辞……地区幹事 河村 嘉 男

議 題……地区幹事 河村 嘉 男

【報告事項】

- 1、世界社会奉仕（WCS）活動状況
- 2、ライラセミナーのご案内

懇 親 会

- ・ガバナー挨拶……ガバナー 江崎 柳 節
- ・乾杯……地区会計長 舟橋 弘
- ・閉会の挨拶……地区監事 長谷川 弘

## 米山奨学生・学友忘年会

米山奨学委員会委員長 大西弘高

2007年12月22日（土）

ホテルキャッスルプラザにて

2007年12月22日（土）恒例の忘年クリスマス会が、ホテルキャッスルプラザにて行われました。

奨学生26名、学友36名、ロータリアン36名、合計98名の参加を得て、楽しい親睦会が出来たと思っております。

米山奨学期間を終え、日本の企業、大学等で自分の専攻分野をさらにみがき、活かす努力をしている学友会のメンバーが中心となっていく忘年親睦会で、自国の民族衣装を着て、参加してくれる学友・奨学生、自国の踊りや歌を披露してくれる奨学生や学友の家族が会を盛り上げてくれました。

プロの歌手、バンドが歌う中で、皆で楽しくダンスをし、特に地区幹事の河村氏の歌は最高の盛り上がりを作ってくれました。

米山奨学事業を今後さらに発展させるには、このような会にロータリアンの参加をもっと多くし、米山奨学生、学友の素晴らしさを多くのロータリアンに知っていただく事が一番だと思います。

本当に素晴らしい奨学生、学友が大勢います。彼等は、ロータリアンとの会話を楽しみにしております。地区役員として今後多数のロータリアンの参加を呼びかけていきたいと思っております。

来年のクリスマス会には、自国の踊りをぜひ披露したいという学友も何人か出て、益々楽しい会になると思っております。多数のロータリアンの参加をお願いし、又、米山奨学事業の発展にご協力をお願い申し上げます。





## ▶▶▶▶ ロータリー財団 国際親善奨学生募集 ◀◀◀◀

- 目的 ロータリー財団では国際親善奨学生を募集しています。ロータリークラブのある他国で専門分野の勉強をしながら国際理解と友好関係を推進する親善使節としての使命を果たしていただきます。
- 奨学金の種類
  - (1) 1 学年度国際親善奨学金 支給額：24,000ドル  
支給期間は、ロータリー財団管理委員会が指定した教育機関における正規の1 学年度（通常9 ヶ月）です。主要目的は親善使節としての役割にあり、期間も1 年であるため、学位や卒業証書を取得することはできません。
  - (2) マルチ・イヤー国際親善奨学金 支給額：24,000ドル  
支給期間は、ロータリー財団管理委員会が指定した教育機関における2 年間です。1 つの教育機関で1 つの学位を取得するためにのみ支給されます。
  - (3) 文化研修のための国際親善奨学金  
支給額：11,000ドル（3 ヶ月）または16,000ドル（6 ヶ月）  
支給期間は、ロータリー財団指定の語学学校における3 ヶ月間または6 ヶ月間の語学集中研修と文化実習のためのものです。
- スケジュール
  - (1) 各ロータリークラブ受付締切……………2008年3月31日(月)
  - (2) 各ロータリークラブ選考……………2008年4月上旬
  - (3) ガバナー事務所受付締切……………2008年4月11日(金)
  - (4) 奨学生書類選考会……………2008年4月18日(金)
  - (5) 奨学生面接……………2008年5月10日(土)
  - (6) 合格通知(本人宛)……………2008年6月上旬
  - (7) 奨学生オリエンテーション・壮行会……………2008年8、11月、2009年2、5月

### 2009-2010年度 国際親善奨学生 応募条件

#### ◆ 応募条件1 (資格)

- ・愛知県在住、在学、在勤、もしくは本籍地をおく者。
- ・奨学金開始年度以前に、大学課程を少なくとも2年修了しているか、高等学校卒業で少なくとも2年間、常勤で職業に従事していること。

※次の方は応募資格がありません。

- a) ロータリーアンまたは名誉ロータリーアン
- b) その配偶者：兄弟姉妹、尊属(両親および祖父母)、直系卑属(血縁による子、孫、入籍している養子)とその配偶者
- c) 奨学金有資格者になることを目的に退会した元ロータリーアン

#### ◆ 応募条件2 (語学の成績) ……2760地区の応募条件

申請時に次の要件を満たしていること。

【1 学年度国際親善奨学生、マルチ・イヤー2 年国際親善奨学生】

- a) 英語圏：「1 年以内のTOEFLスコア」CBT (250点) 以上、PBT (590点) 以上、iBT (100点) 以上
- b) その他言語：「BERLITZ ロータリー語学テストA」Level 7 以上 (大学課程) Level 7・8 以上 (大学院課程)

ロータリーテストのお問合せ先 (BERLITZ 名古屋駅前校 TEL：052-561-4611)

尚、b) の場合、合格者は「ロータリーテストB」に合格しなければなりません。(財団本部のコーディネーター決定後)

【文化研修3 ヶ月国際親善奨学生】

- a) 1 年以内のTOEFLスコア：コンピュータテスト (170点) 以上
- b) その他言語：BERLITZ ロータリー言語テストA Level 3 以上 成績証明書

#### ◆ 応募条件3 (派遣先)

- ・留学国にロータリークラブがある。
- ・同一国2校(同一都市でないこと)までで、3カ国以上、5つの希望校を出すこと。※【ロータリー財団管理委員会(国際ロータリー)は、列記された教育機関のいずれか、または別の適切な教育機関を指定する権限を有します。】
- ・以下の場所は派遣できません。
  - a) 既に入学している教育機関への派遣
  - b) 10歳を超えてから6ヶ月以上滞在したことのある国への派遣
  - b) イギリスは(イングランド・スコットランド・ウェールズ・北アイルランド)からそれぞれ2校ずつ選択可能。
  - c) 言語の使用地域が限られている場合は2カ国にわたり2校と3校にわけて申請可能なこともあります。
- ・文化研修3ヶ月または6ヶ月国際親善奨学生
  - a) 研修を希望する言語および留学地を選択していただきます。※【ロータリー財団管理委員会(国際ロータリー)は、奨学生の希望以外の国の語学研修機関に、奨学生を配属する権限を有します。】
  - b) Home Stayになります。

● 詳細は、RID2760ガバナー事務所分室へお問い合わせください。

TEL:052-211-2760 FAX:052-211-0230 E-Mail:fbranch@rotary2760.org



## 国際ロータリー第2760地区

# ▶▶▶▶▶ロータリー財団世界平和フェローシップ募集◀◀◀◀◀

### 奨学金の種類と募集人員（いずれも全世界での競争制）

	募集人員	支給額
世界平和フェローシップ (1～2年)	毎年1名 (全世界で60名)	学費及び授業料、標準的な宿泊費及び食費、交通費、雑費、および専攻分野の実地体験の資金
平和及び紛争解決研究プログラム (3ヶ月:7月または1月開講)	毎年若干名 (全世界で各30名)	日本からの旅費及び200,000タイバーツ（授業料、宿舎、食費、教材、保険、実地体験費用含む）

### 応募について

#### ◆応募方法

愛知県内の居住地、就学または勤務先の最寄りのロータリークラブから申請書を入力し、もれなく記入の上、必要書類を添えて提出してください。第1次選考（各クラブ）、第2次選考（地区財団委員会）が行なわれ、国際ロータリー本部へ推薦されます。

#### ◆申請締切

世界平和フェローシップ	留学開始前年5月31日
平和及び紛争解決研究プログラム 7月開講コース	留学開始前年11月15日
1月開講コース	留学開始前年5月15日

#### ◆応募条件

##### 【共通】

- ①申請時に、学士号またはそれに相当する学位を保持していること。但し、ロータリアンとその配偶者、直系家族（子、孫）またはその配偶者には応募資格がありません。
- ②他地区との併願、並びに両フェローシップへの同時申請は認められません。
- ③優れた率先指導力を備えていること。
- ④オンラインのオリエンテーション学習資料の予習をはじめ、派遣および受入地区が主催する全てのオリエンテーション・プログラムに出席する責任を果たせること。
- ⑤帰国後、ロータリー活動に参加するなど学友としてかわる責任を果たせること。
- ⑥申請書に記載された責任、および世界平和フェローとしての任務を遂行できること。

##### 【世界平和】

- ①ロータリー・センター提携大学の修士課程プログラムで必要とされている関連分野における学歴、あるいは仕事の経験を有していること。
- ②申請時に、関連分野において合計最低3年間のフルタイムの職務経験（有給または無給）を有していること。
- ③2ヶ国語以上の言語に堪能であること（留学先で授業に使用される言語を含む）。
- ④奉仕活動、学業、職務上の業績を通じて、平和と国際理解に対する熱意を実証していること。
- ⑤指定されたロータリー・センター提携大学の入学許可書を取得する責任を果たせること。

##### 【紛争解決】

- ①フルタイムで中級職や上級職に就いており、紛争解決や調停に関連した分野における職務を少なくとも5年経験していること。
- ②英語に堪能であること（授業は英語で行われます）。
- ③帰国後、平和および紛争解決研究が自分の仕事を高めることを明確に証明できること。

#### ◆留学教育機関

##### 【世界平和】

下記ロータリー・センター提携6大学のうち1校への留学が指定されます。（申請時に、国籍を保有する国以外の大学より、第1～第3志望を選択していただきます）

- ①デューク大学およびノースカロライナ大学チャペルヒル校（米国：21ヶ月プログラム）
- ②国際基督教大学（日本：24ヶ月プログラム）※日本国籍者は海外大学学位保有者のみ
- ③サルバドル大学（アルゼンチン：16ヶ月プログラム）
- ④ブラッドフォード大学（イギリス：15ヶ月プログラム）
- ⑤カルフォルニア大学バークレー校（米国：21ヶ月プログラム）
- ⑥クィーンズランド大学（オーストラリア：16ヶ月プログラム）

##### 【紛争解決】

チュラロンコン大学（タイ、バンコク）

#### ◆問合せ先◆

国際ロータリー第2760地区 ガバナー事務所分室（担当：柚之原 Yunohara）

〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15 豊島ビル3F

TEL:052-211-2760 FAX:052-211-0230 E-Mail:fbranch@rotary2760.org

（それぞれ詳細パンフレットがございます。上記分室までお申し込み下さい。）



豊橋北  
ロータリークラブ

## マニラ・スモーキーマウンテン フィリピン・未来の子ども達に教育支援WCS事業

### 「教育支援こそ国際奉仕」

会長 川口雄三  
国際奉仕委員長 本多一義

今年度創立51年目を迎えた豊橋北ロータリークラブでは、初めて単独でWCS事業を行なった。昨年の9月21日(金)にフィリピン・マニラ首都圏北西部のトンド地区にあるスモーキーマウンテン本住宅のNGOが運営する「サンバヤナン・クリスチャーノ幼稚園」にて、貧困から脱皮するための教育支援として、未来の子ども達507人の3～5才の園児に学習帳、文房具を贈呈した。この事業は、3780地区ケソン市クバオ西RC (Rotary Club of Cubao West Q. C) (会長 Dr. Manouchier Khaledi) と、持続可能な社会実現に向けて市民自らが行動するフィリピンの新しい可能性を実感させるWCS事業として行なった。参加した川口雄三会長をはじめとしたメンバー12名は、9月20日のケソン市クバオ西RCの例会に出席し、交流を深め翌日WCS事業を行った。



事業地の背景は、東洋最大のスラムと称される広さおよそ21ヘクタールの巨大なゴミ集積場があった。もともとは漁村であったその地区は、1954年、人口増加の続くマニラ首都圏のゴミ投棄場所となり、以来1995年に閉鎖されるまでマニラ市内のゴミが運び込まれ続け、21ヘクタール、高さ30メートルのゴミの山が出来た。そのゴミが自然発火して常に、白煙を上げていることから、いつしかその一帯は「スモーキーマウンテン」と呼ばれるようになった。そこには、およそ3000世帯、2万1千人を超える人々が生活していた。住民は子供たちと一緒にマニラからトラックで運ばれてくるゴミの中からガラスビン、アルミ、鉄などの換金可能なゴミを拾い、それをお金に換えて生活の糧としていた。



1994年フィリピン政府は、ゴミの廃棄禁止に踏み切り、1995年にはスラムを撤去し「スモーキーマウンテン」の再開発に取り組み、住民は政府が建設した仮設住宅に移住した。2003年12月にはスモーキーマウンテン跡地に本住宅が完成し、住民の大半は仮設住宅から本住宅へ移り住むことができた。しかし、住宅環境は改善されても多くの住民は定職を見つけることが困難であり、現在も隣接するゴミ集積場にて換金可能なゴミを拾いに行く生活には残念

ながら変化はみられない。そして、子供を学校に通わさずゴミ拾いを手伝っている。

この地区で90年代中旬より、日本のNGO「ライズエイジア」と現地NGO「サンバヤナン・クリスチャーノ」が中心となり、住民の子どもたちへの教育支援活動や生活改善活動が続けられている。当RCがフィリピンミッションを計画した際に、文房具は会員から、鉛筆がみかん箱サイズの段ボール箱に4箱、ボールペン3箱、リサイクルペン2箱、ノート2箱、その他の文房具3箱が集った。フィリピンミッション参加メンバーが、分担をしてフィリピンに運び、サンバヤナン・クリスチャーノ幼稚園に於いて当クラブ会員とケソン市クバオ西ロータリークラブ会員と提携して3才から5才までの園児たちに、ひとりひとりに学習帳と文房具を手渡した。学習帳を受取った子どもたちは、RCメンバーの皆に本当にかわいい小さな手で、我々の手を握り目を輝かしてタガログ語で「ありがとう」を意味する「サラマップ」言って感謝していた。胸を暑くし、涙を流しながら感動していた会員もいた。このWCS事業が明るい未来の子ども達に役に立ち貧困から脱皮できることを願っています。



## ガバナー事務所よりお知らせ

RI日本事務局より届きました下記の件につきまして、多数のクラブよりお問い合わせがございましたので、再度お知らせ申し上げます。

なお、ご不明な点がございましたら、RI日本事務局奉仕室までお問い合わせいただくとよくお分かりになると存じます。

### 出席率の算出

2007年規定審議会において採択された制定案07-16および07-17により、クラブ定款第9条 出席（旧第8条）の第5節 出席の記録 が改正されました。

#### 第9条 出席

第3節 理由のある欠席。 次のような場合、出席規定の適用は免除されるものとする。

- (a) 理事会承認の条件と事態に従った欠席の場合。理事会は、正当かつ十分な理由による会員の欠席を認める権限を持つ。
- (b) 一つまたはいくつかのロータリー・クラブのロータリー歴と会員の年齢の合計が85年以上であり、さらに出席規定の適用を免除されたい希望を、書面をもって、クラブ幹事に通告し、理事会が承認した場合。

第4節 RI役員欠席。 会員が現役のRI役員である場合、その会員に対する出席規定の適用は免除されるものとする。

第5節 出席の記録。本条第3節(b) または第4節の下に出席規定の適用を免除された会員は、本クラブの出席率の算出に使う会員数に含まれない。その欠席も出席も出席率の算出に使わない。

この結果、出席率を計算する際に以下の式をご使用頂くこととなります。

$$\text{出席率(\%)} = \frac{[\text{第9条第3節(b)および第4節で免除された会員を含む出席会員数 } P]}{[\text{正会員総数 } T] - [A] + [B]} \times 100$$

A：クラブ定款第9条第3節(b) [ 年齢・ロータリー歴の合計が85年以上 ] およびクラブ定款第9条第4節 [ RI役員 ] で免除された会員数

B：上記Aのうち、例会に出席した会員数

なお、クラブ定款第9条第3節(a) [ 理事会承認の条件と事態に従った欠席 ] で出席を免除された会員は、従来の規定では、計算式の分母および分子に含まれませんでした。この改正により出席・欠席いずれも出席率計算の対象となります。

例：

クラブの会員構成

正会員総数 T：100名

クラブ定款第9条第3節(b) [ 年齢・ロータリー歴の合計が85年以上 ] およびクラブ定款第9条第4節 [ RI役員 ] で免除された会員数

A：20名

上記出席免除会員のうち、例会に出席した会員数

B：10名

出席免除会員を含む、例会に出席した会員数

P：80名

$$\text{出席率} = \frac{80}{100 - 20 + 10} = 89\%$$



.....【ロサンゼルス国際大会参加者募集】.....

**国際大会に参加しよう！**

参加目標は地区会員数の5%以上【400人】

各クラブ会員数5%の参加のご協力をお願いいたします。

2008年6月15日から18日までロサンゼルスで、RI国際大会が開かれます。米国第2番目の都市ロサンゼルスは人口380万人でロータリー家族のように、さまざまな人種と国際的な活気にあふれています。また『スターが集まる町』『美しい海岸やリゾート地』として有名です。

国際大会は、ロータリーの将来に焦点を当てつつその年度の成果を祝う集いであります。ロサンゼルスは今回で3回目になりますが、今年度RIテーマ『Share Rotary with others as Rotary Shares with you』—『ロータリーは分かちあいの心』の意味を深く考え推進し、『スターに会おう』を合言葉に、ぜひ大会へのご参加をお願いします。

（『See the Stars!』—「スターに会おう」というスローガンには、映画スターはじめ、シニア・リーダーや司会者・発表者などロータリーのスターや、星空に浮かぶ星（スター）を含んでいます。）

**友愛の家 (House of Friendship)** にはロータリアンが自由に休憩や語り合えるようなエリアがあります。**フェローシップ通り**には、世界各国のクラブ紹介や活動状況を展示してあるコーナーがあり、特別な活動状況について意見交換が出来るようになっています。ほかに11のネットカフェや各種のショーを楽しむためのステージも二つ用意されています。世界のエンターテイメントの部での国際大会にふさわしい内容になっています。

RI国際大会への参加は、ロータリーが持つ世界的な影響を実感し、奉仕に対する信念をさらに深めることとなります。大会の前後に、見どころ満載のロサンゼルス周辺とカリフォルニア全州を旅して、家族と共に思い出深い旅行を楽しむこともできます。



2008～2009年度  
RIテーマ



Make Dreams Real  
夢をかたちに





『友』

## インターネット速報

2008年1月15日

No. 318

## ❖ 2008-09年度RIテーマ発表

全世界のガバナーエレクトが、アメリカ・カリフォルニア州サンディエゴに集まり、国際協議会がスタートしました。

1月14日午前9時から始まった第1本会議は、ウィルフリッド J. ウィルキンソンRI会長の開会宣言、歓迎の辞に続き、ロータリーの加盟国の国旗がRI研修リーダーによって次々に入場、最後にウィルキンソンRI会長のカナダの国旗と李東建RI会長エレクトの韓国の国旗、国際ロータリーの旗が入場しました。

李東建RI会長エレクトがその方針を説明し、

新年度のRIテーマ

**Make Dreams Real**

**夢をかたちに**

が発表されると、会場から拍手が沸きあがりました。この講演の中で、李会長エレクトは、特に、1日3万人も亡くなっていく子どもたちの命を救おうと、強調しました。

発行：ロータリーの友事務所

ホームページ……<http://www.rotary.or.jp>

編集については……[hensyu@rotary-no-tomo.jp](mailto:hensyu@rotary-no-tomo.jp)

## 文庫通信 (244号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## ❖ ロータリー情報資料 ❖

- ◎ 「クラブ奉仕を考える」 田中毅 2007 11p (D.2580IM)
- ◎ 「子どもの心を豊かに ～ロータリーがいま、できること (座談会)」  
松本壽通 他 2007 8p (D.2700月信)
- ◎ 「韓日から世界の次世代へ」 今井鎮雄 2007 5p (第8回ROTARY韓日親善會議報告書)
- ◎ 「ロータリーの核にあるもの」 深川純一 2007 18p (D.2610地区大会)
- ◎ 「ロータリーにおけるリーダーシップ」 深川純一 2007 19p (D.2680月信)
- ◎ 「我等のロータリー…時空を超えて」 関慶慶博 2007 10p (D.2530地区大会)
- ◎ 「より長くロータリーライフを楽しむ仕組みづくりを」 西村栄時 2007 2p (D.2730月信)
- ◎ 「より良きロータリーとより良きロータリアン」 渡辺好政 2007 7p (D.2620地区大会)

【上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)】

- ◎ 「国際ロータリー会長の100の名言集」 R.I. 2007 56p

【上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)】

## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F  
TEL (03) 3433-6456 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

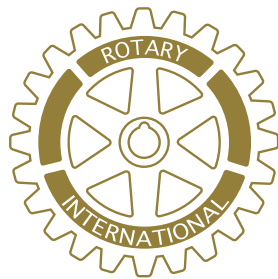
## 会員数及び出席報告 (平成19年12月)

クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月	入会	退会	例	12月	
	2007年 7月1日	7月1日 女性	2007年 12月末日	女性	12月	12月			累計
半田	59	3	59	3	0	2	2	3	95.97%
常滑	51	0	51	0	0	1	0	1	96.03%
東海	60	2	60	2	0	1	0	1	97.83%
東知多	22	1	25	1	0	3	0	0	78.67%
半田南	46	1	46	1	0	1	1	1	98.41%
知多	23	0	24	0	0	1	0	0	91.67%
大府	22	1	22	1	0	0	0	0	85.00%
<b>7RC</b>	<b>283</b>	<b>8</b>	<b>287</b>	<b>8</b>	<b>0</b>	<b>9</b>	<b>3</b>	<b>5</b>	<b>91.94%</b>
一宮	80	0	82	0	0	4	1	2	98.18%
津島	76	3	76	3	0	0	0	0	91.63%
尾西	28	1	29	1	0	1	0	0	95.40%
一宮北	51	0	47	0	0	0	4	4	92.52%
稲沢	56	0	55	0	0	0	0	1	92.00%
あま	89	0	90	0	0	2	0	1	95.28%
名古屋清須	39	1	38	1	1	1	2	2	91.44%
尾張中央	46	0	42	0	0	0	1	4	96.83%
一宮中央	52	5	53	5	0	2	1	1	93.03%
<b>9RC</b>	<b>517</b>	<b>10</b>	<b>512</b>	<b>10</b>	<b>1</b>	<b>10</b>	<b>9</b>	<b>15</b>	<b>94.03%</b>
瀬戸	80	3	78	3	0	0	1	2	100.00%
犬山	79	0	79	0	0	3	2	3	100.00%
江南	55	1	54	1	0	1	1	2	91.15%
小牧	38	3	38	3	0	0	0	0	95.47%
春日井	62	2	63	3	1	2	0	1	93.56%
尾張旭	30	0	30	0	0	2	1	2	97.81%
名古屋空港	57	3	58	3	0	1	0	0	100.00%
瀬戸北	72	5	75	6	0	6	0	3	100.00%
岩倉	19	1	19	1	0	0	0	0	98.68%
名古屋城北	21	2	22	3	0	1	0	0	83.33%
愛知長久手	26	3	24	3	0	0	1	2	86.50%
<b>11RC</b>	<b>539</b>	<b>23</b>	<b>540</b>	<b>26</b>	<b>1</b>	<b>16</b>	<b>6</b>	<b>15</b>	<b>95.14%</b>
名古屋	182	0	191	0	0	12	3	3	82.62%
名古屋西	96	0	102	0	3	9	1	3	91.28%
名古屋南	118	0	120	0	0	2	0	0	92.48%
名古屋みなと	76	0	77	3	0	4	2	3	92.18%
名古屋東南	67	5	82	6	1	16	0	1	97.14%
名古屋中	138	0	141	0	2	8	3	5	99.74%
名古屋瑞穂	72	0	71	0	0	0	1	1	97.30%
名古屋大須	68	3	69	3	1	2	1	1	96.91%
名古屋栄	68	0	68	0	0	3	3	3	94.07%
名古屋名南	74	13	73	13	0	1	2	2	98.45%
名古屋名駅	93	3	98	3	0	6	0	1	95.65%
名古屋西南	46	6	47	5	0	3	1	2	95.52%
<b>12RC</b>	<b>1,098</b>	<b>30</b>	<b>1,139</b>	<b>33</b>	<b>7</b>	<b>66</b>	<b>17</b>	<b>25</b>	<b>94.45%</b>

	クラブ	平均
平均出席率	81	94.59%

クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月	入会	退会	例	12月	
	2007年 7月1日	7月1日 女性	2007年 12月末日	女性	12月	12月			累計
名古屋北	96	0	94	0	0	2	2	4	95.28%
名古屋東	82	0	89	0	0	7	0	0	90.66%
名古屋守山	62	7	61	7	0	0	0	1	93.06%
名古屋和合	98	0	96	0	0	2	3	4	84.54%
名古屋名東	59	7	59	7	0	3	1	3	100.00%
名古屋名北	48	7	48	7	0	0	0	0	94.03%
名古屋千種	58	6	60	6	0	3	0	1	94.69%
名古屋昭和	55	0	55	0	0	2	2	2	96.38%
名古屋錦	33	6	35	6	0	2	0	0	84.13%
名古屋東山	48	2	50	2	0	2	0	0	91.67%
名古屋葵	24	0	27	0	0	3	0	0	100.00%
<b>11RC</b>	<b>663</b>	<b>35</b>	<b>674</b>	<b>35</b>	<b>0</b>	<b>26</b>	<b>8</b>	<b>15</b>	<b>93.13%</b>
豊橋	119	4	119	4	0	1	0	1	91.25%
蒲郡	57	0	55	0	0	1	2	3	88.79%
豊橋北	90	2	93	2	0	4	0	1	98.39%
豊川	66	0	68	0	0	4	2	2	93.25%
田原	54	1	53	1	0	1	0	2	92.13%
豊橋南	63	0	63	0	0	1	1	1	95.78%
新城	50	0	50	0	0	0	0	0	81.70%
渥美	36	0	36	0	0	1	0	1	83.84%
奥三河	18	3	19	3	0	1	0	0	93.00%
豊川宝飯	57	2	53	2	0	0	4	4	96.10%
豊橋ゴールデン	59	0	58	0	0	1	1	2	98.16%
田原パシフィック	63	0	62	0	0	0	1	1	96.55%
豊橋東	45	0	40	0	0	1	0	6	97.50%
<b>13RC</b>	<b>777</b>	<b>12</b>	<b>769</b>	<b>12</b>	<b>0</b>	<b>16</b>	<b>11</b>	<b>24</b>	<b>92.80%</b>
岡崎	92	1	96	1	1	6	1	2	99.20%
豊田	77	0	85	0	0	10	2	2	100.00%
岡崎南	94	2	93	2	1	1	0	2	95.64%
豊田西	99	0	101	0	0	4	1	2	100.00%
岡崎東	62	0	61	0	0	1	0	2	99.31%
豊田東	78	0	79	0	0	3	1	2	97.29%
岡崎城南	75	0	75	0	0	0	0	0	96.42%
豊田三好	22	2	22	2	0	0	0	0	82.54%
豊田中	49	5	52	5	0	3	0	0	93.00%
<b>9RC</b>	<b>648</b>	<b>10</b>	<b>664</b>	<b>10</b>	<b>2</b>	<b>28</b>	<b>5</b>	<b>12</b>	<b>95.93%</b>
刈谷	92	4	92	4	2	4	0	4	100.00%
安城	60	1	61	1	1	1	0	0	99.45%
西尾	71	1	75	1	0	4	0	0	98.77%
碧南	79	0	78	0	0	2	2	3	97.94%
一色	29	0	29	0	0	0	0	0	100.00%
高浜	39	2	41	2	0	2	0	0	100.00%
知立	65	0	65	0	0	1	0	1	100.00%
西尾KIRARA	58	0	58	0	1	1	1	1	100.00%
三河安城	56	6	57	6	0	1	0	0	97.30%
<b>9RC</b>	<b>549</b>	<b>14</b>	<b>556</b>	<b>14</b>	<b>4</b>	<b>16</b>	<b>3</b>	<b>9</b>	<b>99.27%</b>

地区内クラブ数	81RC	2007年7月1日会員数	5,074名	内女性142	増加会員数(累計)	187名
		当月会員数	5,141名	内女性148	減少会員数(累計)	120名
		当月平均出席率	94.59%		差引純増会員数(累計)	67名



ROTARY  
INTERNATIONAL  
DISTRICT 2760



#### 表紙に寄せて

冬のチウルリー公園(パリ) 撮影 江崎 柳節

ここでも風景のよく眺められる部屋にこだわった。チウルリー公園、ここは遠出の観光バスの発着所が近く、一日掛けてモンサンミッシェルにもここから行ける。氷雨が上がった公園のメリーゴーランドの電飾が美しい。

パリRCの例会では卓話の時間が、当日はパネルで“高校と大学との連携”の討論が行われていた。ここも進学問題があるのだなあと思った。予定時間が2時間を取ってあったが途中で静かに退場した。お年寄りが多く出席率150%と言う会員が見かけられた。方々の例会を楽しんでいる方々であろう。ここでは入会式にも出くわした。全員起立で誓約書の署名と朗読を見とどける儀式があった。それ以来わがホームクラブも同様の儀式にして入会者の人生の一大エポックを祝うことにしている。(柳節)

#### ガバナー事務所

〒485-0041 小牧市小牧五丁目253  
小牧商工会議所会館5F  
TEL0568-74-6111 FAX0568-74-6112  
HP : <http://www.rotary2760.org>  
E-mail : [governor07-08@rotary2760.org](mailto:governor07-08@rotary2760.org)